

# 英語科学習指導案

授業者 和歌山市立紀之川中学校 教諭 永田佳子

A L T Hannah Todd

1. 日時 2008年 9月 18日(木) 第5限(13時25分~14時15分)
2. 場所 和歌山市立紀之川中学校 1年4組(男子 16名 女子 15名)
3. 生徒観 全体的には明るく活発で、学習に対する意欲が高い生徒が多い。コミュニケーション活動やゲーム等に積極的に参加でき、発表もよくする。個々に見ると、学習の定着が十分とは言えない生徒もいるが、そうした生徒も言語活動には積極的に取り組み頑張っている。また、英語を聞いたり話したりする姿勢は意欲的だが、読んだり書いたりする事には少し苦手に感じる生徒が多く、これからの課題となっている。
4. 単元名 Unit 5 「ピクニックに行こう」 NEW HORIZON English Course 1
5. 単元の構成
  - 第1時 注文をしよう 名詞の複数形 《本時》
  - 第2時 CDを何枚持っているの? How many~?と応答
  - 第3時 提案・申し出・指示をしよう Let's~/ 命令文
6. 題材について 日常でよくある場面での会話を中心となる単元である。ハンバーガーショップでの注文のやりとりや、相手の持っている物の数を尋ねたり、相手を誘ったりする表現を学ぶことができる。本時の題材は特に外国へ行ったときに非常に役に立つ表現なので実際にハンバーガーショップに行った時のような雰囲気の中で、実践的なコミュニケーション能力を養いたい。
7. 指導観 ハンバーガーショップでの注文のやりとりのコミュニケーション活動を中心としながら、名詞の複数形や Please の使い方を新しく学ばせていきたい。あまり文法にこだわりすぎないように、生徒の話す意欲や表現する力を大切に指導していきたい。また、言語活動の中で ALT と生徒が実際にコミュニケーションをとることで、「自分の英語が通じた」喜びと自信を感じさせ、英語の興味・関心を深めていけるようにしたい。
8. 本時の指導目標
  - (1) お客と店員になり、ハンバーガーショップでの英語表現に慣れ親しむ。
  - (2) 名詞の複数形の形・意味・用法を理解し、表現できる。
  - (3) Please の用いられる場面を理解して、使うことができる。

## 9. 本時の授業展開

指導過程	学習活動	支援 (JET:○・ALT:●)・留意点:★	評価基準
1. Greetings (あいさつ)	◆ 英語であいさつをする。	○● 元気よくあいさつをする。 ★ 学習の雰囲気を作る。	
2. Warming up (ウォーミング アップ)	◆ Number Bomb	● 数字の発音・英語で質問	・ルールを守って楽しく活動できているかどうか。 (関心・意欲・態度)
3. Introduction (導入)	◆ 教科書を閉じる。 ◆ スキットのデモンストレーションを聞いて内容を予想する。	○ 教科書を閉じ、スキットの内容を予想するように指示する。 ○● スキットのデモンストレーションを行う。	・よく聞いて、スキットの内容を考えようとしているか。(意欲)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日本語でスキットの内容について簡単に質問する。</li> <li>◆ 日本語でハンバーガーショップでの注文の様子を考えてみる。</li> <li>◆ 教科書を開く。</li> <li>◆ 新出単語の発音・意味の確認 (フラッシュカード)</li> <li>◆ スキットの全体概要と重要表現の理解 複数形 重要表現の確認 Please の使い方 For here or to go? Here you are.</li> <li>◆ スキットの音読練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容確認の質問をする。</li> <li>★ 臨場感ができるように小道具などを使い演じる。</li> <li>★ 場面や会話の内容等を予想する力を大切にする。</li> <li>● 新出単語の音読</li> <li>○ 意味の確認と説明</li> <li>★ 言えてない生徒にはそばについて一緒に発音する。</li> <li>○ 複数形・重要表現の説明</li> <li>★ 一方的な説明にならないようにする。</li> <li>★ 生徒と一緒に考え、やり取りを大切にする。</li> <li>● スキットの音読 発音のモデルを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の場面ややりとりの内容が理解できているか。(理解)</li> <li>・大きな声で発音できているか。(意欲・態度)</li> <li>・対話の要点を正しく聞き取ることができているか。(理解)</li> <li>・積極的に声を出して読んでいるか。(意欲・態度)</li> </ul>
4. Development (発展)	<p>《 Communicative Activities 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ハンバーガー注文ゲーム</li> </ul> <p>ペアに分かれて、新メニューでお客と店員のやりとりを発表できるように練習する。</p> <p>メニューや値段の音読練習</p> <p>お客と店員のパートに別れて練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○● ゲームのモデルを示す。</li> <li>● メニューや値段の音読</li> <li>○● 机間巡視をしながら、つまづいている生徒を確認し、そばについて支援する。</li> <li>★ スキットをなるべく見ないで発表できるように促す。</li> <li>★ 数の言い方・複数形や please の使い方がきちんとできているかを確認、支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って意欲的に参加できているか。(態度・意欲)</li> <li>・話し手の目を見て会話ができているか。(表現)</li> <li>・適切に質問、応答して自分の伝えたいことが表現できているか。(表現)</li> <li>・発音やイントネーションに留意できているか。(表現)</li> </ul>
5. Consolidation (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スキットの数ペアの発表</li> <li>◆ ALT とペアを組みスキットをやってみる。</li> <li>◆ 自分で今日の学習の評価をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒とペアを組み対話をする。</li> <li>○ 発表者を支援し、発表者以外の生徒は静かに聞くように伝える。</li> <li>○● 発表の講評をする。</li> <li>★ 小道具などを使って臨場感のあるスキットになるように支援する。</li> <li>★ 発表する生徒への評価と練習の成果を誉めることに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキットをなるべく見ないで英語らしく発表できているか。(理解・表現)</li> <li>・積極的に発表しようとしているか。(関心・意欲)</li> </ul>